（別紙様式）　　（Ａ３判横）

令和７年度　学校自己評価システムシート（県立いずみ高等学校）

Ｓ２９

目指す学校像	地球環境のよき理解者としての、グローバルな視点をもった、品格あるスペシャリストを育成する学び舎

重点目標	１　普通・専門教科それぞれの授業の質を高める（学力向上）とともに、キャリア教育を充実させ、将来にわたって学び続ける意欲をもった生徒を育てる。 ２　「時を守り、場を清め、礼を尽くす」を実践し、プロフェッショナル人として、規範意識を高めるとともに、他人を思いやる心等、豊かな心を育成する。 ３　教育内容や特色・強みを地域社会に発信し、地域との協働による開かれた学校づくり・教育活動を推進する。

達成度		
	A	ほぼ達成（８割以上）
	B	概ね達成（６割以上）
	C	変化の兆し（４割以上）
	D	不十分（４割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局（教職員）	名

※　重点目標は３つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※　番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価								学校関係者評価
年度目標					年度評価（　月　日　現在）			実施日　令和　年　月　日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	【現状】 多様な生徒が入学していることから、学習環境の充実が求められている。 【課題】 従来からの学習方法に加え ICT の積極活用により、授業の質を高め、生徒一人一人の可能性を伸ばせるキャリア教育を行う必要がある。	【生徒】 ○生徒が ICT 等も活用し主体的に学びに向かえるよう学習環境の充実を図る。	①各教科で本校の学びの特色や魅力の理解･定着を図りながら、学習への興味関心を生徒が定着できるようICTを活用する。 ②専門教科を中心に本校の特色でもある各種検定･資格取得の活動をとおして生徒にチャレンジする向上心を育む。	①ICT学習理解の定着と実習等の時間を確保できるよう意識啓発を行い、授業満足度が80%以上維持できたか。 ②各種検定･資格に取り組む生徒の割合や合格者や取得級などの実績が向上したか。				
		【教職員】 ○ICT 活用による魅力ある授業づくり及び生徒の可能性を引き出すキャリア教育を行う。	①ICT等を使用した授業に取り組み、教職員の授業力向上を目指す。 ②全職員は、生徒の進路実現に向けて、生徒自らが主体的に行動できる教育を行い、サポート指導体制を構築する。	①授業公開を行い、教職員の学びの場を設け授業力向上につなげられたか。 ②生徒一人一人の進路実現に向けてキャリア教育を充実させることで生徒が主体的に行動できたか。				
2	【現状】 落ち着いた学校生活を送る生徒が多い中で、生徒の特性や多様性をふまえ、より一層丁寧な説明や対応が求められている。 【課題】 社会貢献するプロフェッショナル人材の育成のため「時を守り、場を清め、礼を尽くす」指導が浸透するよう引き続き組織的に継続していく必要がある。	【生徒指導】 ○社会人基礎力の育成を目指す生徒指導の推進。	①生徒の特性や実態をふまえ、保護者や関係機関と連携していく。 ②共通理解のもと指導方法やルールを明確にし、実態に即した遅刻指導や整容指導体制を構築していく。	①生徒特性に対応し、学習に取り組める環境づくりを実施できたか。 ②保護者の理解を得て、基本的生活習慣の確立を目指す。特に遅刻指導の対象生徒は減少したか。				
		【学校行事】 ○教育活動を通して多くの生徒が参加･活躍できる行事運営を行う。	①学校行事や HR、教科指導の中で、一人ひとりが活動に参画し達成感を得られる工夫を図る。 ②各分掌･学年は、学校行事では、生徒の活動を最大限確保する。	①生徒が意欲的に学校行事に活動できたか。 ②各種教育活動を円滑かつ安全に実施し生徒の主体性を引き出すことができたか。				
3	【現状】 専門高校として企業･異校種･地域等と連携して、オンリーワンの魅力ある高校を目指す。地域交流は行われ評価は高い。 【課題】 地域に根ざした魅力ある専門高校として、生徒募集に関する情報発信をはじめ、本校の取り組み（SDGs）を意識した地域連携を充実させる必要がある。	【地域連携･生徒募集】 ○地域連携の継続と生徒募集に向けて学校の魅力 PR に効率的に取組む。	①地域活動への参加や外部連携を積極的に行い、開かれた学校づくりを行う。 ②志願者倍率1倍以上の確保を目標に本校の魅力を地域･保護者･小中学生へ PR する。	①地域や企業と連携した取り組みが順調に進んだか。 ②本校の魅力を生徒募集に繋げることができたか。				
		【広報広聴】 ○学校HP等の充実と迅速な情報提供システム、安心安全で開かれた学校づくりを行う。	①各担当でホームページなどへの掲載を増やすとともに、分かりやすい学校紹介、未更新ページの充実を行う。 ②管理職等は危機管理対応のための情報発信を行い、生徒や保護者に対して安心安全な情報提供に努める。	①学校HPの充実とページ内更新が順調に進んだか。 ②生徒･保護者に対して学校からの各種情報が適切に提供できたか。				